

あなたの健康を守るレーザー治療最前線



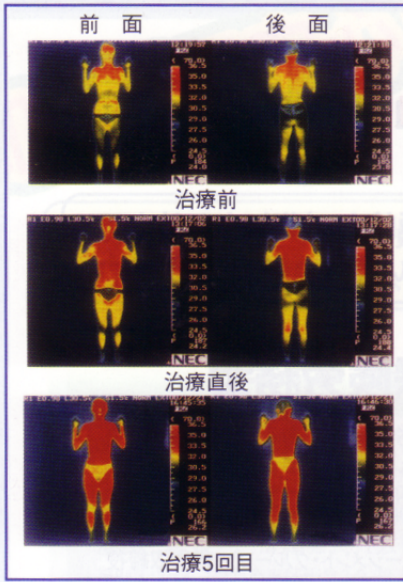
大城俊夫先生
(大城クリニック院長)

冷え症が治る！ 内科的レーザー治療

第3回冷え症

**皮膚温を上昇させる
治療が必要**

近年、夏になると厳しい暑さが続きます。しかし、室内では快適な空間を保つために寒いくらいの冷房が完備されています。外と内部の温度差が激しく、体調を崩される方も少なくありません。女性の約半数は、冷え症と言われています。冷え症の原因として挙げられるのが、貧血をはじめとして、低血圧、甲状腺機能低下、



自律神経失調症などです。5年ほど前から、大城クリニックでは、サーモグラフィという赤外線の写真を使って、不妊症の検査をしています。不妊症の患者さんの冷え症には、次のような特徴があります。

- ・鼻から頬にかけて
- ・胸、胃、下腹部
- ・上背部、臀部、四肢
- ・不妊症の患者さんには、このような低温部が存在しています。これらをレーザー治療で治療することによって、患者さん自身も表面的な皮膚だけではなく、頭や胸、お腹の中までも暖かく感じることができるようになります。

レーザー治療のさまざまな治療をご紹介します。今回は夏の冷房でお悩みの方、必見です。第3回目は多くの

女性の悩み「冷え症」についてレーザー治療での効果をご紹介します。まじまじ。

体質改善で頭痛や肩こりも

冷え症の患者さんには、頭痛、肩こり、胸痛、腹痛、腰痛や四肢の痛みなどをお持ちの方も多くいらっしゃいます。しかし、このような痛みなども、レーザー治療をしていく過程で、皮膚温の改善とともに消えていきます。

見ますと、医師の所見と患者さんが感じられる所見が一致します。患者さん自身もその所見に驚かれています。週1〜2回のレーザー治療を5回ほど続けると、全身の皮膚温が上昇していきますので、冷え症の悩みもなくなります。冷え症の治療は、レーザーをあてながら、それい部分を治療していきます。そうしますと、足の土踏まずのあたりから上部へ暖かくなっていくのがわかります。治療した晩から靴下もはかず、毛布もかけずにぐっすりとお眠ることができ、患者さん自身がそれを実感することができそうです。

また、難治性の患者さんの中には、早期閉経や更年期障害の方もみられますが、更年期障害の方の顔のほてりやのぼせ、めまい、しびれ、不整脈や動悸、息切れ、食欲不振、下痢などの症状も、レーザー治療で改善されていきます。第1回目でご紹介しましたように、内科的レーザー治療は、大城クリニックで開発されました。弱いレーザーによるさまざまな症状に効果的な治療方法です。これによって女性特有の冷え症の悩みからも解放されます。

「レーザー治療に関する質問・疑問などがございましたら封書で、大城クリニックあてにご送付ください。「スクウェア21」誌上で回答させていただきます」

初診専用 ☎ 0120-70-0046 (9時～20時)
 休診日 毎週金曜・祝日/初診料無料 完全予約制
 〒160-0016 東京都新宿区信濃町34 JR信濃町ビル2F
大城クリニック・レーザー専門クリニック

**大城クリニック主催
セミナーのお知らせ**
 セミナー名:「夫婦ふたりで考えるレーザーの不妊セミナー」
 日程:第8回 8月31日(土) 14:00～17:00
 第9回 9月14日(土) 14:00～17:00
 講師:大城俊夫
 慶應義塾大学医学部客員教授
 大城クリニック院長
 鈴木秋悦
 慶應義塾大学医学部産婦人科元
 助教授
 銀座ウイメンズクリニック名誉院長

プログラム予定:
 ●講演① レーザーによる不妊治療
 ●講演② 不妊治療の最新情報
 ●レーザー治療体験
 *レーザー治療の一部をご体験いただきます。
 ●質疑応答
 *レーザー治療について、不妊治療などのご質問に専門の先生がお答えします。

参加費:1,000円
 場 所:BRBクラブハウス
 T E L:03-3571-7821
 中央区銀座8-9-4 たあぶる館B2
 申込み先:大城クリニック
☎0120-70-0046

<http://www.ohshiro.com>